

# 日本国際連合学会

## 2006年度（第8回）研究大会

日時：2006年6月3日（土）午前9時半～午後6時  
6月4日（日）午前10時～午後5時

会場：京都大学医学部構内 芝蘭会館山内ホール  
〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町  
TEL: 075-753-9336

### 大会プログラム

全体テーマ：「国連と日本の50年－将来への展望」

#### 第1日：6月3日（土）

- ◇ 開会祝辞（午前9時半～9時45分）：「日本の国連加盟50周年を記念して」  
千 玄室（国際連合親善大使／日本国際連合協会会長）
- ◇ 記念講演（午前9時45分～10時半）：「国連と日本の50年－最初の邦人国連職員として」  
明石 康（日本国際連合学会理事長）
- ◇ 第一セッション（午前10時半～午後1時）－シンポジウム－  
テーマ：「国連と日本の50年－将来への展望」  
司 会： 内田孟男（中央大学教授）  
パネリスト1： 高須 幸雄（特命全権大使）  
パネリスト2： 石原 直紀（立命館大学教授）  
パネリスト3： 千野 境子（産経新聞論説委員長）  
パネリスト4： 潘 亮（筑波大学専任講師）
- ◇ 昼食（午後1時～2時半）－理事会 ※会場は当日受付にてご案内いたします

◇ 第二セッション (午後 14 時半～17 時半) —国際シンポジウム—

(日英両語で行い通訳はつきません)

テーマ:「グローバルガバナンスと国連」

司会: 高橋 一生 (国際基督教大学教授)

パネリスト 1: ハンス・ファン・ヒンケル (国際連合大学学長)

パネリスト 2: 【交渉中】

パネリスト 3: 関 薫子 (国連人道問題調整官事務所)

パネリスト 4: 有馬 真喜子 (ユニフェム日本国内委員会理事長)

パネリスト 5: 星野 俊也 (大阪大学教授)

◇ 総会 (午後 5 時半～6 時)

◇ 懇親会 (午後 6 時～8 時) ※会場は当日受付にてご案内いたします

第 2 日: 6 月 4 日 (日)

◇ 第三セッション (午前 10 時～12 時半)

テーマ:「国連改革の行方 (新たな前進)」

座長: 家 正治 (姫路独協大学教授/神戸市外国語大学名誉教授)

報告 1:「安全保障理事会と日本の役割」

滝崎成樹 (外務省総合外交政策局国連政策課課長)

報告 2:「平和構築委員会」

山田 哲也 (椋山女学園大学助教授)

報告 3:「人権理事会」

安藤 仁介 (同志社大学教授)

報告 4:「事務局改革と NPM(New Public Management)」

城山 英明 (東京大学教授)

◇ 昼食 (午前 12 時半～午後 2 時半) —編集委員会/研究連絡委員会合同会合

※会場は当日受付にてご案内いたします

◇ 第四セッション (午後 2 時半～5 時) —学会会員による独立報告—

座長: 位田 隆一 (京都大学教授)

報告 1:「国連女性差別撤廃条約の国内適用: 日本の事例研究」

軽部 恵子 (桃山学院大学助教授)

報告 2:「国連経済制裁における『スマート・サンクション』の導入」

本多 美樹 (早稲田大学)

報告 3:「平和維持活動と国連法—平和維持活動の分類に関する法的考察」

柴田 裕輔 (青山学院大学)

ご出欠を同封の「参加申込書」にて 5 月 20 日 (土) までにファックスでご返事下さい。また、お近くに参加ご希望の方がおられましたら、参加申込書をコピーして傍聴と明記の上、お申し込み下さいますようお願い下さい。当日傍聴者 (傍聴料 2 日で 500 円) として歓迎いたします。